

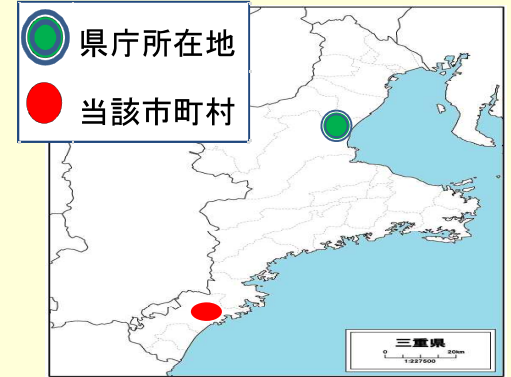
# 熊野市 湯ノ口温泉施設周辺整備事業

## 団体情報

人口 18,068人 (H27.4.1時点)

三重県南部に位置し、奈良県及び和歌山県、尾鷲市などに接する。

東南部は、熊野灘に面し、リアス式海岸と白砂青松の変化に富んだ景観に恵まれている。総面積は373.35km<sup>2</sup> 観光産業が盛んであり、熊野古道、鬼ヶ城、花の窟、丸山千枚田などが有名であるほか、三百余年の伝統を誇る熊野大花火大会は、約1万発を打ち上げる紀州最大の花火大会である。



## 事業について

○事業名 湯ノ口温泉施設周辺整備事業

○総事業費 375,788千円  
(うち財政融資資金) 104,400千円

○事業内容

建設から33年が経過し、老朽化の進んでいた「湯元山荘湯ノ口温泉」の本館建て替えをはじめ、敷地内の付属施設や、設備の全体的な改修を行った。

## 事業による効果

○観光客の受入態勢の充実

湯ノ口温泉施設への集客増加が図られるだけでなく、関連施設や、市への観光集客の一助となることが期待できる。

○地域の活性化

市内の地域特産品や観光資源を活用、発信することで産業の振興や雇用の創出など、地域の活性化につながる。

○都市との地域間交流の促進

都市部から多くの観光客を呼び込み、交流人口の増加を図るとともに、周辺施設等との連携により、市内への滞在を誘引し、地域活性化につなげていく。



湯ノ口温泉

